

# 育成だより

第116号

【発行】大刀洗町青少年育成町民会議 TEL 77-2670 FAX 77-2760

【編集】大刀洗町青少年育成町民会議広報委員会

## 令和5年度 大刀洗町青少年育成町民会議の取組み

主な取組みは4つです。

### 「少年の主張大会」私からのメッセージ

令和5年11月11日(土) (敬称略)

#### 小学生の部

菊池小学校	6年	中野 那俐
本郷小学校	6年	田代 清太郎
大堰小学校	6年	松川 可歩
菊池小学校	6年	掛橋 來叶
本郷小学校	6年	松延 陽菜実
大刀洗小学校	6年	近藤 菜美

#### 中学生の部

大刀洗中学校	1年	棚町 颯飛
	2年	和田 留果
	3年	行徳 恵理奈

### 大刀洗町ドリームまつり



【(2)～(10)ページに全文掲載】

### 各校区民会議の事業紹介

◆大刀洗校区民会議「ふれあいハイキング」

◆本郷校区民会議「災害の備えとお米への感謝」

◆菊池校区民会議「伝統行事の「もぐらうち」」

◆大堰校区民会議「子どもたちと地域のつながりを!」

【(11)～(12)ページに掲載】

### 「家庭の日」推進共同事業 中央公民館講座「親子を楽しむ!まなび講座」とのコラボレーション企画

#### 第1回 「防災講座 災害に備えるって?」

令和5年7月2日(日)



#### 第2回 「日本刀を知る!」

令和5年7月17日(月)



#### 第3回 「町探検! 親子ウォークラリー」

令和5年9月30日(土)

#### 第4回 「ハロウィン仕立てのかぼちゃスープ」

令和5年10月28日(土)

#### 第5回 「たまには親子でボードゲームしようか! 2」

令和5年12月17日(日)

【(13)～(16)ページに内容を掲載】

### 「育成だより」第116号発行

(広報委員会にて編集して年1回)

## 少年の主張大会

～私が～のメッセージ～ 小学生の部



自分自身を変えるために

菊池小学校  
六年 中野  
那例

みなさん、自分を変えようと思つたことはありますか。ぼくは、自分を変えようと思つたことがあります。そして、人は誰でも変わると今なら思います。

これまでのぼくは、物事を良くない方向に考えていました。「どうせ」や「でも」と頭の中で

んはどうでしょうか。「どうせ」や「でも」とできない理由ややらない理由を考えることをしていませんか。こんな考え方だつたので、学校生活を自分から楽しくすることが少なかつたよう思います。

ぼくは、野球をしています。今までは、野球でも物事を良くない方向に考えてしまうことがあり、野球の試合では、いつもヒットを打てるとは限りません。これまでのぼくは、全く打てなかつたときに、腹を立てたり、泣いたりと感情を表に出すことがよくありました。打て

などと良くない方向に考えていたのです。

そんな自分を変える出来事がありました

それは六年生になつて五月にトヨタカップヒュンダイ大きな大会に出たときのことです。いつものように張り切つてのぞんだ大会でしたが、緊張のあまり全く打てません。チームの中間や

恥ずかしいけれど、これも自分が成長するチャンスだ。人前に出て表現する力をこの集会を通して高めるぞ」と考え方を前向きにしてのぞみました。すると、人前で思い切りジェスチャーをすることができたのです。クラスのみんなも頑張つて挑戦していた姿が印象的な集会となりました。

普段の授業中の発表だつてそうです。「自分の考えをみんなに伝えて、自分たちで授業を楽しくするぞ」という考え方で臨んでいるので、勇気を出して発表する機会も増えました。代表委員長やクラスの学級会の司会も、「自分の経験のため」と考え方を前向きにして挑戦しました。これらの経験は自分のためになつたと思います。

A young boy in a dark suit and tie stands at a podium, speaking into a microphone. He has short dark hair and is looking slightly to his right. The background is dark.

として平常心で投げることが今の自分にとって大切なのだと考え直したのです。なんとかその回を切りぬけ、大きな大会を終えました。そのときの出来事を通してぼくは、上手く、かないとき、都合が悪くなつたときにこそ、考え方を変える必要があるということを学びました。

六年一組では、一学期に「勇気をふりしほう集会」をしました。一人でも勇気を出して、前で自分を表現することを目標にする取組み

のままではだめだ。ピッチャーリーとして次はがんばらない」と。ぼくは切り替えてピッチャーリーとして平常心で投げることが今の自分にとって大切なのだと考え直したのです。なんとかその回を切りぬけ、大きな大会を終えました。そのときの出来事を通してぼくは、上手くいかないとき、都合が悪くなつたときにこそ、考え方を変える必要があるということを学びました。





みなさんは、日ごろ、自分から挨拶することができていますか。私はふだん、友達や地域の人に会った時は、大きな声で挨拶をするようにしています。でも、挨拶をしても、小さな声でしか返ってこなかつたり、挨拶が返つてこなかつたりすることもあります。もしかしたら、感染症の対策等であまり人と接しないようにしていた時期があつたからなのかかもしれません。でも、この距離を縮めるためにこそ、まずは、みなさんに挨拶をしてほしいです。

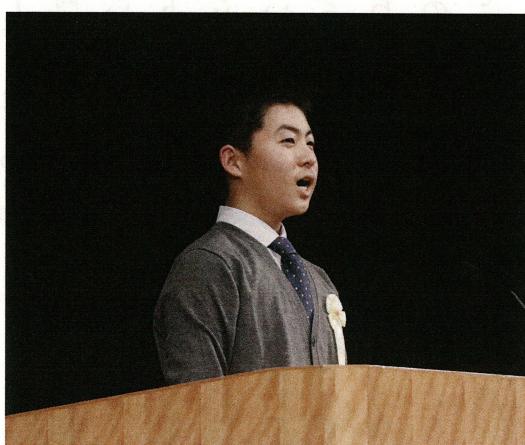
挨拶は、人と人のつながりを確かめたり、深めていったりするために、欠かせないものだと思います。よく、「元気に挨拶をしましょ」と言いますが、挨拶することは目的ではありません。挨拶することで、相手とのコミュニケーションがスムーズに取れたり、日ごろの何気ない挨拶が、距離を縮めることにつながつたりすることもあります。私自身も、転校生がクラスに来た時、はじめは、どんな話をしたらよいか分かりませんでした

が、毎朝挨拶をすることによって、好きな絵の話や前の学校の話をするようになり、すぐに仲良くなることができました。また、学校に来た時、帰る時には、職員室へ行き、先生方へ挨拶をしていました。これは、今までの先輩たちの姿を見て始めたことで、自分から挨拶をするという習慣がついたきっかけでもあります。今では、下級生も挨拶をするようになります。先生方へ挨拶をすると、例えば、前日に欠席をしていたら、「具合はどう?」「勉強が分からなかつたら、聞いてね。」等と、声をかけて下さり、安心して学校生活を送ることもできます。

では、学校外ではどうでしょうか。地域の行事でも、挨拶をきっかけにして、多くの人たちと楽しい時間を過ごすことができます。今年行つた夏祭りでも、保育園の時の先生等に声をかけてもらいました。保育園に行つていた時の話をしたり、最近の学校でのことを話したりして、とても、楽しい時間を過ごすことができ、そこにいたみんなが、自然と笑顔になつていきました。しかし、見渡してみると、学校に比べて、挨拶をしている人は少なく感じました。屋台で買い物をしていても、ただお金を払うだけだつたり、ステージでの

発表も、みんな自分の知り合いだけ動画を撮つて、終わると人が少なくなつたりしていました。私は、もつと周りの人も気に掛けることで、町全体がさらに温かい雰囲気になると思うし、災害時や緊急時の時も、助けを求めやすくなると思います。

私は、もつとみんなが温かく、つながりあえる大刀洗町になつてほしいし、自分もしていきたいです。今日のドリームまつりも、たくさん的人が参加していて、とても楽しいです。挨拶は、コミュニケーションをとるために、とても大切なものです。みなさん、ぜひ、挨拶をきっかけにして、もつともつとつながり合い、すてきな町にしていきましょう！





## 私の願いがみんなの笑顔に

大堰小学校  
六年 松川 可歩

「こんな大きな願いは叶うわけないか。」

そう思つて書いたあの一枚の紙があななことになるとは思いもしませんでした。

私の家の近くには、大堰公園があります。小

さい頃から友達やお兄ちゃんと遊びに行つて樂しんでいた公園です。でも、すばり台と小さなスプリング遊具しかないで、小学三年生

のころには、友達と遊んでいても少したいくつでした。他の子も、あまり遊んでいるようではありませんでした。「もつと大きなすばり台やボルターリングがついた遊具があると、みんな思つていました。

ある日、大堰公園から遊んで帰つてきて、「大きな公園みたいに、いろんな遊具があつたら、もつと楽しいのに。」

と、父に話してみました。すると、父から「それなら、大刀洗未来ポストに願いを書いて入れてみたら。」

と言われました。大刀洗未来ポストは、役場の入口にあるポストで、誰でも願いを書いて入れ

ることができます。私は、「こんな大きな願いが叶うわけないか。」と思つたけれど、もしかすると…と思い、「大堰公園の遊具を増やしてください。」と紙に書いて未来ポストに入れました。

一週間後、役場から返事がとどきました。「私の願いが役場の人伝えました。」と驚いています。

「まずは、地元の区長さんに相談してください。」と書かれていました。そこで、父と一緒に区長さんの家を訪ねました。そして、

「今の大堰公園は、遊んでいても少したいくつなのです。もつと楽しく遊べるように遊具を増やしてください。お願いします。」

と、相談しました。区長さんは、

「そういうことなら、役場に相談してみるよ。」

とこたえてくださいました。私の願いが区長さん

に伝わったのです。それからは、区長さんが役場の人とたくさん話をしてくれて、すばり台や、ボルターリングなどが一つにまとまつた大きな複合遊具ができることが決まりました。

先日、大堰公園の前を通つた時、小さい子とお母さんが新しい遊具で楽しそうに遊んでいました。一、二年生や三年生たちも鬼ごつこやかくれんぼをして楽しんでいるそうです。私も、友達と新しい遊具で楽しく遊んでいます。

私たちの自まんの公園です。私の願いは、小さな子どもや近所の人達の笑顔につながつたと思います。

「遊具を増やしてくれてありがとうございます。」と言われた時は、ポストに願いを出して本当によかつたと思いました。

未来ポストに願いを書いた紙を入れる前は、どうせ子どもの言うことだから叶うわけないと思つていました。しかし、小学生の願いで叶うということが分かりました。区長さんや役場の人たちは、予算のことや設計のことなど、たくさんの時間をかけて私の願いを叶えるために動いてくださつたと思います。私の願いが区長さんに伝わり、区長さんから役場のいろいろな方に伝わり遊具ができました。

私は、これまで、人前に出て話すことや行動することが苦手でした。むずかしいことや苦手なことがあると、「どうせできない。」と逃げてしまつていました。でも、今回の経験を通して、「きつとできる。」という思いをもつて、自分の願いを伝えることの大切さを学びました。

新規の遊具ができるよ。」と聞いたときは、なみだが出るほどうれしかつたです。新しい公園で遊んだ友達から、「それなら、大刀洗未来ポストに願いを書いて入れてみたら。」

そして、これからも、自分の願いを行動にうつしてみるということを大切にしながら成長していきたいと思います。



## 人間関係をつくる一歩

菊池小学校  
六年 掛橋 來叶



ぼくには、大勢の友達がいます。そして自分から友達に関わることを大切にしています。でも、初めからこんなぼくではありませんでした。ある時、ふとしたきっかけでぼくは変わることができたのです。

あれは、四年生の時、なんとなくスポーツ選手の名言集を見ていたら「Don't be afraid to fail. Be afraid not to try.」マイケル・ジョーダンの言葉が目にとまりました。言葉の意味を調べると「失敗する」とおそれず、挑戦しないことをおそれる「」でした。ぼくはずっと頭からはなれませんでした。

五年生のとき、担任の先生から「人間関係は、自分からつくるもの」と教えてもらいました。しかし、新しいクラスになつた緊張や「友達とうまく関係をつくることができるかな」という不安で自分から友達に声をかけることができませんでした。

そんな時に背中を押してくれたのは、マイケル・ジョーダンの言葉でした。その言葉から、ぼくは試みもせず、失敗することにおそれている自分に気づいたのです。そこで、人間関係をつくるために大切なことを二つ考えました。

一つ目は、自分と友達のちがう所を見つけて境界線を引かないということです。なぜなら、自分と友達のちがう所を見つけると友達を否定する思考になるからです。友達との間に境界線を引くと人間関係をつくることができません。よりよい人間関係をつくるための一歩は、友達と共に通するところやいいと思うところを見つけることです。そうすると友達との距離が近くなります。

二つ目は、自分から声をかけ、友達に関わっていくことです。なぜなら、待っているだけでは、なりたい自分に変わることができないからです。なりたい自分になるためには、自分から動くことが大切です。

三つ目は、環境が変わることをプラスにとらえることです。なぜなら、誰もが環境が変わることに不安をもつかもしれないからです。しかし、新しい友達が増えるチャンスだと思つて、一步踏み出すことが大切です。ぼくも、四年生から五年生のクラス替えをチャンスだと思って行動しました。

このように、友達との距離を縮めて、自分から関わってきたことで、人間関係をつくることができたのです。四月から、ぼくも中学生です。これからも自分から関わることを大切にして、たくさんの方達をつくっていきたいと思います。みなさん、環境が変わつても、チャンスだと思って勇気を出して一步ふみだしてみませんか。





「大丈夫。」

これは、私を一番支えてくれた言葉です。

四年生の時の担任の先生が、私にかけてくれた言葉です。

今、私は、毎日学校に通っています。

九月、町民体育大会で、「とんにがすな」の出場募集がありました。私は、「やつてみると楽しいかも。」と考え、立候補しました。六年生だけで男女も関係なく一十人の友達が集まりました。みんなで目標をたて、何度も練習を積み重ねました。私は、みんなと取り組むうれしさをたくさん感じることができました。本番の日は、雨で中止となつてしまつたけれど、練習した時間が充実して挑戦してよかつたと思うことができました。

また、今、本郷小学校では、縦割り班掃除や遊びに取り組んでいます。初めて会う下級生もいて、自分から話しかけることは勇気がいります。しかし、リーダーとなる六年生だからと、勇気を出して声をかけ班をまとめよう取り組んでいます。

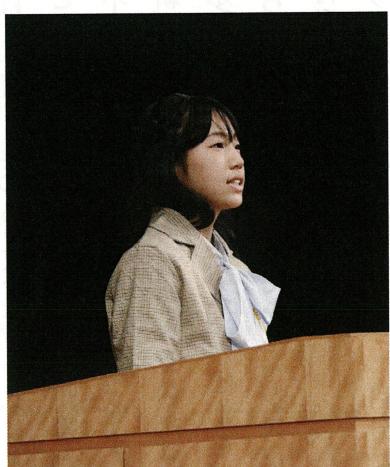
このように、私は、「大丈夫！」考えすぎないことを心に決めて、毎日学校生活を送っています。みなさんにとつて、これは、当たり前のことがかもしれません。しかし、私は、四年生からの約二年間、学校に行くことができませんでした。

四年生のある日、私は、急に学校に行くことができなくなりました。今思うと、三年生の時に本郷小学校に転入してきたので、周りに合わせること、周りからの見方等、小さなことが積み重なつたことが学校へ行くことができなくなつた理由かなと思っています。

お休みしていても、放課後登校、運動会見学、英語村での学習等に挑戦しました。自分の心と体に相談して、頑張る日と休む日を決めて取り組んだ二年間でした。

このように、私は、前に一步進むときのパワーの出し方を学びました。みなさん、もし同じように悩んだとき、自分自身を信じて、あなたの近くにいてくれる人を信じてほしいです。そして、私が、声をかけたいです。

「それでいいんだよ、大丈夫。」



六年生になつたら学校へ行かなきやと思えるようになつていきました。

約二年間という時間は、私にとつてよい経験だと、今は思えます。このように思えるようになったのは、お母さん、友達、先生の存在があつたからです。私のパワーの源でした。そして、私のパワーの出し方、それは、自分を信じることです。時には思うようにいかないこともあります。でも、「きっと大丈夫。ゴールの仕方も人それぞれ、それでいい。」と思うことができるようにになりました。

このように、私は、前に一步進むときのパワーの出し方を学びました。みなさん、もし同じように悩んだとき、自分自身を信じて、あなたが近くにいてくれる人を信じてほしいです。そして、私が、声をかけたいです。

久しぶりに友達に会うので緊張し、遠慮がちに話す感じだつたことを覚えていました。最初は行くか迷つたこともあつたけど、合ったびに友達との距離は近くなり、どんどん話せるようになりました。そして、楽しみだなという気持ちが大きくなつていきました。この時、一緒に遊んでくれた友達は、今、とても大切な存在です。その友達がいてくれたから



「ありがとう」をつないでいく…。

みなさんは、小さな事でも、感謝の気持ちをもつて「ありがとうございます。」と言っていますか？

勉強、委員会活動、学校行事、習い事など、とてもいそがしい日々を送るようになつた五年生の中頃。私は、いそがしいを理由に、友達に勉強を教えてもらつても、委員会活動で友達に仕事を手伝つてもらつても、「ありがとうございます。」の一言が言えずにいました。それは、どんなにいそがしくても習い事の送りむかえを交代してくれていた家族に対しても同じでした。

しかし、そんな私とは違つて、私の家族は、小さな事でも「ありがとうございます。」と、よく言い合つていました。その頃の私は、「大したことでもないのにどうしてわざわざ『ありがとうございます』と言っているのだろう。それくらい当たり前のことなのに…。」と、考えていました。今思うと、その頃の私は、何となく家族の輪から離れていたような気がします。友達との関係も、少しよそ

よそしかつたかもしません。

六年生になり、最上級生として学校での役割が増え、ますますいそがしくなつていきました。

ある日の委員会活動の時、読書月間のイベ

ントで友達の手伝いをしました。私が帰ろうとすると、その友達は、とても気持ちの良い笑顔で、心のこもつた「ありがとうございます。」を私に伝えてくれました。特別なことをしたつもりはないがつたけれど、この「ありがとうございます。」を聞いて、私はとても気持ちがよくなつたと同時に、その友達と心がつながつたような気がしました。

その後も、いろいろな場面で、同じような気持ちの良い「ありがとうございます。」の言葉をもらい、次第に私は、小さな事でも、「ありがとうございます。」と伝えることの大切さを感じるようになりました。

ある昼休み、友達が私を遊びにさそつくれました。以前の私なら、ただ「うん。」と応えられました。しかし、その頃の私は、笑顔で元気には「ありがとうございます。何して遊ぶ？」と応えるだけだつたかもしれません。しかし、「ありがとうございます。」の大切さがわかつた私は、笑顔で元気になりました。

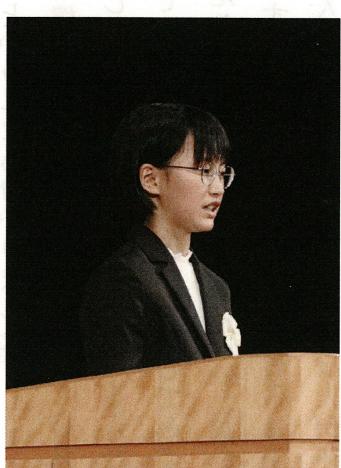
私のこの「ありがとうございます。」で友達との心がつながり、前より仲が深まつたような気がしました。

事にも感謝をし、気持ちの良い「ありがとうございます。」で、家族や友達の心のつながり、そのつながりが輪となつて広がっていくのを感じるからです。

世界では、武力によつて傷つけ合い、人と人とのつながりをたち切る戦争が起つています。そんな悲しいニュースを見るたびに、私は、小さな当たり前の事への感謝の気持ちがわいてきます。

六年一組の仲間。一緒に遊んだり、困つている時に助けてくれたりして「ありがとうございます。」家族のみんな、いつも習い事の送りむかえをしたり、笑顔で応援してくれたりして「ありがとうございます。」

みなさん、私と一緒に、小さな当たり前の事にも「ありがとうございます。」を伝え、身近な友達、家族、そして、これから出会う多くの人たちと、心のつながりの輪を広げていきましょう。



# 少年の主張大会

～私たちのメッセージ～ 中学生の部



## LGBTQの理解

大刀洗中学校  
一年 棚町 颯飛

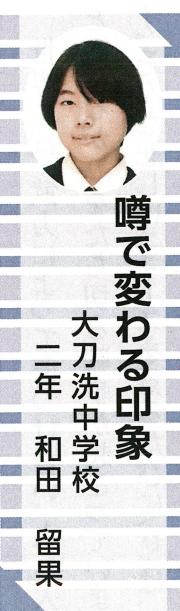
みなさんは、LGBTQという言葉を知っていますか？L（レズビアン・女性同士の愛者）G（ゲイ・男性同士の愛者）B（バイセクシュアル・両性愛者）T（トランスジェンダー・性自認が出た時に割り当てられた性別とは異なる人）Q（クイア）クイアは、元々「不思議な」「風変わりな」「奇妙な」などを表す言葉でしたが現在では、様々な性の在り方を表す言葉として使われています。

みなさんはこのとこについてどう思いますか？僕はとても素晴らしい考え方だと思いますし、自分の生き方をしっかりと表現することができていて、とてもかつていいと思います。しかし、この世の中の人々の中には、このような考え方をおかしい、理解できないと思つてゐる人がいます。LGBTQについて気になつて調べてみると、約五十一%の人人がLGBTQ

に対して否定的な考えを持つてていることが分かりました。自分らしく生きているだけなのに、なぜ否定的な考えを持つてしまふのか。この事について知りたくなり、さらに調べることにしました。するとLGBTQの人たちに対して、自分の常識に当てはまらないからや、認めないとけないけれど理解できない気持ちがあるということが分かりました。その気持ちが大きくなつてしまつて、LGBTQに対して差別的な言動が生まれてしまつているようです。もしそうだとしても他人に自分の生き方を否定されると、嫌な気持ちになつたり怒りがわいてくる人もいると思います。だからこそ、LGBTQについて一人一人がよく知ること、知つた上で正しく理解し受け入れることが大切だと考えました。その第一歩として、LGBTQについて支援しているものやことを知ることから始めようと思いました。調べてみると、性と人権ネットワークというLGBTQに対して啓発活動を行つてゐる団体やにじいろ北海道という北海道内のLGBTQ支援活動団体があるということが分かりました。他にも様々な活動団体があり、合計十六の団体があるということが分かりました。僕はこの十六の団体があるという事が分かつて、多くの人がLGBTQに対して知つてほしいと

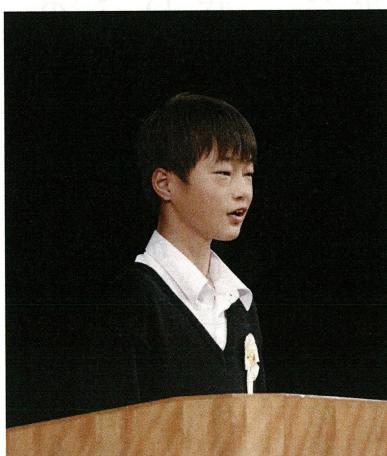
思つてゐるといふことも分かりました。

最後に、僕は、この主張文を通して、LGBTQに対して否定的な考えを持つてゐる人たちが少しでも知ろうと思つたり理解してみようと思つたりすることにより、少しでもLGBTQを受け入れるようになつていろんな人が住みやすく過ごしやすい環境、社会になつていくと思います。



## 噂で変わる印象

大刀洗中学校  
二年 和田 留果



「あの子ってこうらしいよ……。」

私たちの誰もが聞いたことのある、噂話。誰かが何気なく発した、たつた一つの言葉で、相手の印象が変わることもある。人は、それが真

実かどうかも分からぬのに、第三者から言われたことをすぐに鵜呑みにして、その人を勝手にイメージしてしまう。避けたり、罵つたり、それが最悪いじめに繋がつたりすることもある。ただの噂に過ぎないのに…。たつた一つの言葉が、相手を幸せな気持ちにさせることもある。あれば、暗いものに変えてしまうこともある。言葉が、後者のような形で使われることは、決して許されるべきではない。

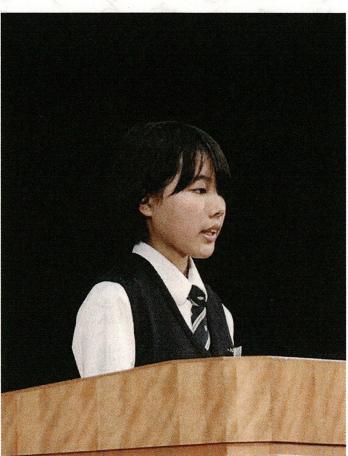
私がこのことを強く感じたのは、あの日の出来事があつたからだ。ある日、Aさんが「私、Bさんに悪口を言わされている」と言つてきた。私は直感的に「Bさんが悪い」と思った。なんでそんなことを言うのだろう。疑問に思つた私は、Bさんにそのことを尋ねた。しかしBさんは「そんなことは言つていらない」と言う。どちらの話が本当なのか、私は分からなくなり、困惑した。BさんとAさんのどちらかが嘘をついているのだろうか。そのことを誰かに確認したい思いに駆られた。しかし、私が良かれと思つて取つた行動が噂となり、異なるニュアンスで本人の耳に届いたとしたら、きっと誰かをとても嫌な思いにさせてしまう。眞実が明らかでない以上は、自分の心に留めておくべきだ。そう自分に言い聞かせ、その件は一旦、腹の内に收めることにした。

私がそのように判断できたのは、世の中で起きているSNSの問題が記憶に新しいからである。もちろん、SNSを利用するメリットはいくつもある。情報発信や情報収集が手軽にできる。しかし、その反面でデメリットも多い。SNSに投稿した内容が自分の意図とは異なる形で広まり、炎上してしまうというニュースを見ることがある。しかし、それ自体が間違った情報だつたとしたら、名前を挙げられた人は、どう思うだろう。悪意がなくても、誤った情報をネットにあげてしまう危険性については、「一人一人が考えるべきだ」と思う。また一方では、嫌がらせや目立ちたいという欲求から、意図的にネットにコメントをあげている人もいる。ある動画のコメント欄を見ていると、コメントが目立つてることがある。「アンチコメントをネタにしているから」とか、「相手も炎上して有名になつていてるから」といふんじやないのか、と思う人もいるだろう。確かにアンチコメントをネタにして動画にあげている人もいる。炎上していることを暴露して、有名になつた人もいる。しかし、相手の気持ちは表面上だけ決めつけることはできない。相手も楽しそうだから、という軽い気持ちでコメントを発信

してはいないだろうか。相手が楽しそうにしていても、本心では「やめて欲しい」「本当はすごく嫌だ」と、つらい思いをしているのかも知れない、と一度踏みとどまつて考えるだけでもいいと思う。

人は見た目だけでは判断できない。明るく振る舞っている人も、悩みを抱えていることがある。外見は男子だけれど、中身は女子といつたトランスジェンダーの人も、身近にいるはずだ。自分と合わないと感じる人がいるのは、噂だけで判断して、関わることを自分からやめてしまつたからかもしれない。そういう観点を一人一人がもつことは、人間関係を構築していくうえで、とても大切だと思う。

私は、噂に振り回されたり、人を自分の感覚だけでそうだと決めつける人にはなりたくない。皆さんも、直接顔と顔を合わせて、たくさんの人と関わっていく時間をもつと大切にしてみませんか。





## 挑戦すること

大刀洗中学校  
三年 行徳 恵理奈

みなさんは、挑戦と言う言葉にどのような印象を持っていますか。中には、挑戦と言う言葉を聞くと良い印象を持つ人と悪い印象を持つ人がいると思います。

私は、挑戦と言う言葉に敏感です。なぜなら、私にとって挑戦する事は楽しみや興奮をして期待を与えてくれるものもありますが、一方で、怖くて不安なものもあるからです。日々の日常生活の中で、私達は必ず何かに挑戦していると思います。ですが、その内面では誰しもがやつてみる上で不安に感じたり、抵抗があつたりすると思います。私もそのような経験をした事があります。それは、私が小学三年生の時でした。有名なピアノのコンクールに応募させてもらえて、当時の私にはそれが何よりも嬉しく、不安な気持ちなどはなく興奮・希望・期待の気持ちでしかあふれていませんでした。ですが、結果では賞をもらえませんでした。何度も何度もこの一度の挑戦のためにたくさん練習を重ねてきたのにと悔しく思いました。次のコンクールでは、挑戦する事に不安しか感じなくなつていきました

た。また、まだ私が部活をしていた時も同じ思いをしました。チームの仲間を引っぱっていく先輩という立場でありながら、試合で負けてしまう原因になつた事で挑戦から逃げてしまつ時期がありました。すごく怖くて不安で試合の前日には、自分に自信がなくなつて、弱気になつてしまいものすごく苦しかつたです。そんな時、私はとある曲に出会いました。その歌詞には、

「過去の自分が今僕の土台となる」

という言葉があり、ものすごく衝撃を受け、心に刺さる歌でした。その曲に出会えたからこそも頑張ろうと前向きに思える大切な勇気をもらいました。このことから私は気づいた事があります。何か一つ自分を支えてくれる人やものに出会える事で毎日楽しい人生を送れて、誰でもきっと前を向いて歩いていけるという事です。自分の支えは大切です。私は、その曲に出会えて、ずっと立ち止まつていたその場から一步先に進むことが出来ました。

わろうとしているからで、誰も頑張っている人を止めたりなんてしません。昔の私みたいに、今、挑戦する事から逃げている人は、逃げないでほしいです。今までの辛い過去があつたからこそ今はまた新たな挑戦に向かつて努力し続け頑張っています。最後に、私がみなさんに伝えたい事は挑戦を恐れてもいい、少しずつ前を向き進めばいいから諦めずに挑戦しつづけ、自信を持つて自分の可能性を信じ続けてほしいと言う事です。



## ふれあいハイキング

大刀洗校区民会議

青木修一

## 伝統行事の「もぐらうち」

菊池校区民会議

小林美穂

好天に恵まれた十一月二十五日、ふれあいハイキングを実施しました。児童十七名、役員・ボランティア等三十四名。五年生児童の司会で出発式を行った後、大刀洗公園を目指して大刀洗小学校を出発しました。高樋、山隈の集落を通り、子どもと大人がわいわいしゃべりながらウォーキング。高樋までの間は、ずっときれいなコスモス。道中は交通安全協会の方々に通行の安全を確保していただいた。

公園に到着すると、早速ビンゴゲームの歓声が響き渡りました。自由遊びでは、芝生の広場を駆け回りました。また、ターザンロープも人気でしたが、最も子どもたちをひきつけたのは、一年前に設置された「大刀洗ワンドック合戦」と名付けられたたくさん機能が付いた複雑な形の大型遊具でした。

充実した時間はあつという間。楽しく遊びまわつて、子どもたちに「集合!」の「残念な」呼び声。

到着式も、児童の司会で参加者の感想を聞くなどして進められました。本年度も弁当は持ち帰りとなりました。次年度こそ現地で弁当を食べ、もっと長く楽しい時間が過ごせることを期待したいと思います。

育成会主催の主な取組は、ハイキングとふれあい標語募集です。他には、校区祭りやノーポイ運動、釣り大会等、各種団体の催しへの積極的な参加です。注目すべきは、子どもたちに係わる三団体の役員を多くの方が重複して務めていることです。いずれも子どもたちの健全育成に大きく貢献しています。三団体が一層連携を深めながら取り組みを充実していくことが望されます。



竹に巻いた藁で無病息災、五穀豊穫を願つて地面を思い切り叩く「もぐらうち」が今年も菊池校区青少年育成会議の伝統行事部の事業として、一月六日に行われました。参加したのは、菊池小学校の児童四十名と保護者、育成会議伝統行事部役員です。はじめに、小学校の体育館で「もぐらうちづくり」を行いました。保護者や役員にサポートしてもらいながら、子どもたちは一生懸命もぐらうち作りにチャレンジしました。青竹に稻藁を麻繩で巻いて縛り、先端をわら切りで切つてもらつた後、運動場へました。子どもたちは輪になり、「十四日のもぐらうち!ねぎだれ、けーだれ、打ちまくれ!!」と大きな掛け声に合わせてもぐらうちで地面を勢いよく叩きました。子どもたちは、「はじめての参加で不安だつたけど、楽しむことができてよかったです。」と感想を聞くことが出来ました。

今年度は「歩け歩け大会」と「もぐらうち」を計画していました。新型コロナウイルスも五類に変更となり、二つの行事をともに実施する予定でしたが、歩け歩け大会は天候不良により中止となり、体育館に集まつた子どもたちでレクレーションを行いました。



令和6年3月1日

## 災害の備えとお米への感謝

本郷校区民会議  
会長 白石 茂

今年度、本郷校区育成会では、二つの大きな行事がありました。

一つは、十月二十一日に実施した「防災教室」です。これは、地球温暖化の影響で災害が頻発する傾向を踏まえ、災害から身を守るために知識や意識の向上を図るもので、当日は、三井消防署の全面的な協力のもと、役場総務課、区長会、地域づくり委員会等、多くの方の協力で、子どもたちも楽しく良い経験や体験ができたと思います。

内容は、防災講話、地震車による地震体験、新聞紙でのスリッパ作り、水消火器体験、煙体験、応急担架作り、非常持ち出し袋の内容物、過去の水害ポスターの掲示と多岐にわたる内容でした。体験した子どもたちからは、「こわかった」「すごい」「楽しかった」「おもしろかった」「もう一回」などの意見がありました。

もう一つは、十一月二十九日、五年生の総合学習として、竈・羽釜による炊飯体験の「羽釜でご飯」です。苗作り、田植え、稲刈りを通して米作りの苦労や大変さを体験し、お米の大しさと食べ物への感謝を学びました。研いだお米を羽釜に入れ、火加減を調整しながら、どの班も上手に炊き上げることができ、子どもたちから「わー、おいしそう」と歓声が上がりました。羽釜で炊いたご飯は格別で、大口で頬張っていました。もちろん完食です。

子どもたちとともにこれら行事が行えたのも、学校関係者や本郷地区の皆様の「つながり」の強さ、協力しようとする意識の高さの賜物と思われます。

今後も地域の皆様とのつながりを大切に、子どもたちと一緒にわっていきたいと思います。



## 子どもたちと地域のつながりを！

大堰校区民会議  
野瀬 美穂

今年度もあとわずか！トラブル無く年中行事を終え、大堰の事務局一同ほつと一息つくことができました。今年度は、新型コロナウイルス感染症が五類へと移行したことにより、私自身多くの行事に前向きに取り組めるようになりました。

八月に開催された憩いの園大堰交流センターでの「大堰校区夏まつり」には多くの模擬店が並びました。育成会のブースでは、チュロスや飲料水等を販売し、多くのお客様が来店してくれました。まつりでは、保育園児、小学生、各団体の踊りや発表に声援を送り、来場者みんなで楽しみました。

十月、主催事業のウォーキング大会では、天候にも恵まれ、保育園児から大人まで百名を超える参加があり、大いに賑わいました。コースは、「憩いの園大堰交流センター」から「片の瀬公園」までの往復です。中学生ボランティアが中心となり小学生をまとめてくれ、班ごと安全に気をつけながら目的地まで歩いてくれました。公園では、恒例となつた宝探しゲームが行われ、宝物を見つけた小学生の歓声に大人たちの顔には笑みがこぼれました。

今年度も地域の皆様のご支援に支えられ、育成会の活動を続けることができましたことに感謝申し上げます。今後も各活動を通して、子どもたちが地域の方々と交流できる場をつくり、地域みんなで子どもたちの成長を見守つていける大堰を目指し励んでいきたいと思います。



# 親子を楽しむ! まなビィ講座

『家庭の日』推進事業『親子を楽しむ!まなビィ講座』と青少年育成町民会議とのコラボ企画  
令和5年度は、5回の講座を開催しました。

第1回

## 防災講座「災害に備えるって?」 ~食べて知る非常食と町の取り組み~

令和5年7月2日(日)開催

町が備えている「非常備蓄食料」の紹介と合わせて、日常の食料も非常時の食料となることを学び、実際に水で戻したカップラーメンなどを試食。

「思ったよりも美味しい」「夏だと冷たい方が食べやすいかもしれない」といろいろな感想が出ていました。

また、総務課消防防災安全係の方に、災害時における町の備えや、防災について話していただきました。

その後、100円ショップでも手に入る災害時に役立つグッズを紹介し、保温アルミシートに親子で包まったり、防災倉庫を見学したり、避難所で貸しられるテントを張って実際に使ってみたりと、様々な体験もしました。

第2回

## 「日本刀を知る!」 ~刀鍛冶の仕事~

令和5年7月17日(月)祝日開催

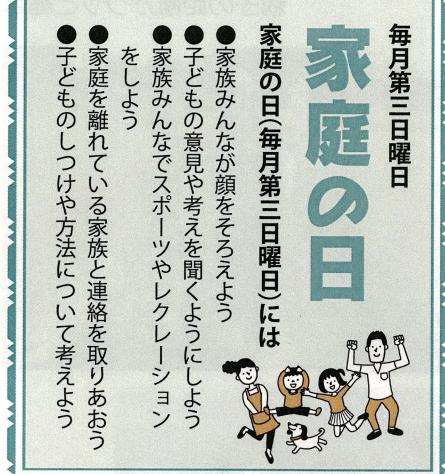
静岡県から現役の刀鍛冶・内田義基刀匠をお招きし、刀鍛冶の仕事と刀剣について知る講座を、ビギナーズ歴史倶楽部と共に開催しました。

まずは、なぜ刀鍛冶を目指し、どうやって刀鍛冶になったのか、経余曲折の半生を話していただいてから、刀を作るという仕事について詳しい説明を聞きました。

当日は、内田刀匠のご厚意でたくさんの道具や刀剣などを持ち込んでいただきました。

実際の材料や道具を前にして、また手に取っての解説だったのでイメージしやすく、複雑な工程と様々な職人の手を経て作られるのだということがよくわかりました。

「憧れはあるても大変そうな仕事」といった感想も多かったですが「これからも残って欲しい仕事」「いつか守り刀や鑑賞のために刀を買いたい」といった感想もありました。



第3回

## 「町探検！親子ウォークラリー」



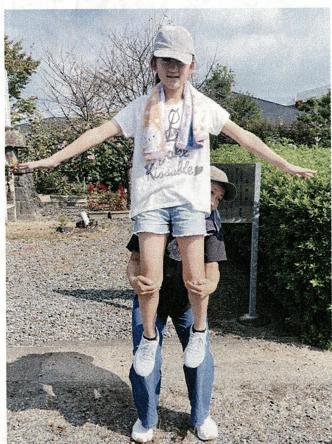
令和5年9月30日(土)開催

時間：8時40分～11時40分 場所：大刀洗公園及び周辺地区

町内の小学生とその保護者4組10名が参加され、親子ウォークラリーを開催。

歩くことを楽しみながら、23問のクイズや課題を親子のコミュニケーションで解いて、大刀洗町や近隣の歴史・自然などを学んでもらいました。

親子の距離がグッと縮まり、会話も弾んで絆が深まったようです。



課題は、組体操『サボテン』  
「できたら！」  
できるかな？



保護者  
3人兄弟なので、いかがわか長女と2人で走りました。今日はお天気もよかったです。  
大盛況で、機会になりました。普段まち歩いている町の歴史にも触れることができて、こんなところにこんなものがあるのかー」と知るきっかけになりました。もういろいろなところに目をつけ、ほんとうに楽しめました。ありがとうございます。(笑)

保護者  
大刀洗公園で一緒に遊ぶけど、周辺にたくさんの戦争の跡があり、あることをかいります。自分で足で歩いて歴成戦がとてもあります。

お子様  
ひさしごりに上耳さんと一緒にでますことができてうれしかったです。お母さんといはい大刀洗のことを知れてよかったです。

お子様  
たへんたたけでできたからよかったです。  
大刀洗公園のまわりはどんなものがあるのかわかりました。わろくわたいへんだね！クイズをしながらいろいろなところを歩いて楽しめました。



第4回

## 美味しい絵本 「ハロウィン仕立てのかぼちゃスープ」



**令和5年10月28日(土)開催**

ハロウィンが近いということで、それにちなみ『かぼちゃのスープ』を作りました。

まずは図書館の方に依頼し、テーマとなった絵本『かぼちゃスープ』を読み聞かせしていただきました。

10時15分から調理を開始し、約1時間ほどで完成。

低学年でも無理なく、安全に、簡単に、美味しくできるようにレシピと材料を工夫し、冷凍のかぼちゃを裏ごしせずに使うことにしました。

水を使わず、かぼちゃと玉ねぎと牛乳だけの濃厚なスープだったので、野菜のうまみがギュッと詰まったかぼちゃスープになりました。

想像よりも簡単に、美味しくできたという意見が多くて、家でも作ってみたいという声も聞けて良かったです。



第5回

## 「たまには親子でボードゲームしようか！2」



**令和5年12月17日(日)開催**

昨年に引き続き、みんなでボードゲームをしました。

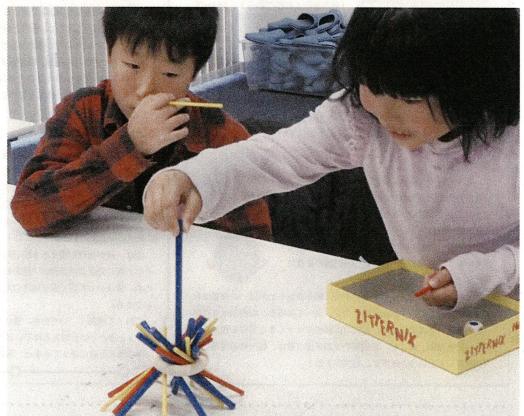
3つのグループに分かれて、サイコロがあれば家でもできるゲームから、本格的な道具を使ったゲームまで、和気あいあいといろんなゲームを楽しみました。

ありがたいことに、ボードゲームが趣味とおっしゃる参加者の方に、たくさんのゲームを持ち込んでいただいたので、当初の予定よりも大変充実した内容になりました。

ボードゲームは(一部を除き)ひとりで完結するゲームではないので、コミュニケーションが必要となります。

初対面同士、最初はぎこちなかつたグループも、様々なゲームを通して自然と会話し、時に励ましあったり、アドバイスしあったりしながら、最後は歓声が上ることもあるほど仲良く盛り上がりました。

初めてボードゲームに触れたという方多かったです、「知らない人とも仲良くなれて楽しかった」「大人も子どもたちと楽しく遊べたので良かった」との感想もあって、開催してよかったです。





# 「育成通信」



町内の小学生を対象に、親子で読んでいただきたい「育成通信」(A4紙1枚)を年4回発行しました。今年度は、「自然観察&自然と遊ぶ!」の特集です。(1面のみ紹介)

# 第1号「春の野草」～草花遊びと観察～

令和5年4月13日発行

### 第3号「夜空觀察」

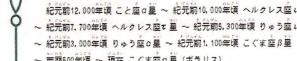
令和5年10月2日発行



**育成通信** 第3号  
(2023年10月2日)

発行 大阪府立長居植物園附属  
【家庭の環境教育実験室】

読みやすい  
読みにくい



★北極星の移り変わり

- 紀元前12,000年前 ことロ星 → 紀元前10,000年前 ヘルクレス座 星
- 紀元前8,700年前 ヘルクレス座 星 → 紀元前3,000年前 りょう星 星
- 紀元前3,000年前 りょう座 星 → 紀元前1,100年前 こまつ星 星
- 世界1000年前 → 現在 こまつ星 (ボリス)

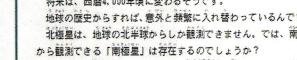
将来、西暦4,000年後には変わるそうです。

地理の歴史からすると、意外と読み入れ替わっているんですね。  
北極星は、海辺の岸辺かららしく船をさましたんですね。では、両半球から観察できる「南極星」は存在するのでしょうか？

それさきまじめはあんとうがさ、比較的暗い星であることに加え、  
ピッタリの地図で、暗なうないいことですね。



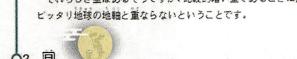
◆今回のテーマ／夜空観察



突然ですが、私の前の日暮は、5時から約3分の光との散歩です。  
夏場以外は外は暗く、柔らかく星を見上げることができます。  
星にはあまり興味がないので、今日は興味のある3のことなどを紹介します。①北極星、②月、③人工衛星についてです。

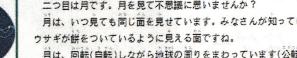
### ① 北極星

知っている人もいると思いますが、北極星は  
北の方向を示すために必要な星です。それは、  
北極星が北の位置から動かないためです（恒星）。  
まるで、北極星を向く間に星が動いているよう  
見えますね。実際は、地球の回転（自転）し  
ています。右図の上回り（公転）の軌道の延長に  
北極星があります。



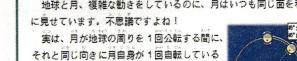
二つ目は月です。月を見て不思議に思いませんか？  
月は、いつ見ても同じ面しか見えないです。みなさんが知っている  
ウサギが餅をついているように見えらるですね。

月は、回転（自転）しながら地球の周りをまわっています（公転）。  
地球も、複雑な動きをしているのに、月はいつも同じ面を私達  
に見せています。不思議ですよね！



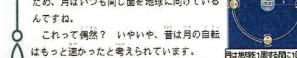
実は、月が地球の周りを1回公転する間に、  
それに同じ回数で月自身が回転している  
ため、月はいつも同じ面を地球に向いてい  
るんですね。

これって何？いやいや、昔は月が自転  
はともと速かったと考えられています。  
月の形を正確に測っていると、地球の強い



月の重力で月が回転しているからです。  
これが、月の裏側を向いて回転する原因  
になります。

北極星はホリスターという名ですが、興味があったのは、北極星は水  
星に近い位置なのかもしれませんということです。調べてみると、北極星は古代文明  
であるといわれています。地球の回転軸がゆっくりと方向を変えていく  
「動進運動」により、北極星が担当する星は、幾千年の間で変  
わっているということです。壮大ですね！



月が回転する方向に回転する  
月の裏側を見る

いつ同じ面を見る

## 第2号「身近な野鳥観察」

令和5年7月3日発行

第4号「四季」

令和6年1月12日発行

今年度はコロナ禍も終わり、各種行事やイベントが開催され、活気と通常の生活が戻ってきているのを感じた一年でした。

広報委員として二年間関わらせて頂きましたが、私自身が三十年前的小学生時に体験していた地域の行事が今も続けられていることの素晴らしさを感じると共に、地域の方々の努力や想いに触れさせて頂きました。人と人の関係性が薄れていっている現代だからこそ、このような機会の価値や重要性は以前より増しているのではないかでしょうか。子ども達の成長を育むことの大切さは今後も変わることはないでしょう。もしも私の子が子どもを授かった時に、またこの機会に触ってくれることを望みます。

編集後記